

令和2年度実地研修会（大河津分水路改修事業）における  
新型コロナウイルス感染症への対応について

令和2年9月17日  
（一社）全日本建設技術協会

本会では、令和2年度建設技術講習会・実地研修会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月の開催分まで中止にしてきましたが、このたびの令和2年度実地研修会（大河津分水路改修事業）は、ソーシャルディスタンスに配慮した方法（**会場収容人数108名のところ44名、大型バス乗車定員49名／台のところ22名／台×2班編成**）として、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で実施することといたしました。

なお、今後の社会情勢等により、実施方法の変更や中止となる場合があります。

その場合には、本会ホームページにて発表するとともに各地方協会等へメールにてお知らせいたします。

令和2年度実地研修会（大河津分水路改修事業）に参加される方は、新型コロナウイルス感染予防にご協力下さい。

【実地研修会（全体）での感染予防対応等】

1. 会場等で検温を実施いたしますのでご協力をお願いします。体温が37.5度以上の場合は、参加をご遠慮いただくことをご了承ください。
2. マスクの着用をお願いします。なお、スタッフもマスク等を着用させていただきます。
3. 発熱や咳など体調不良の場合はご参加を見合わせてください。
4. 実地研修会終了後、14日以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに全建事務局までご連絡ください。感染者または濃厚接触者と分かった場合は、保健衛生局等への情報提供にご了承ください。保健衛生局等からの聞き取りなどへの協力および要請に対応していただきますようお願いいたします。

【聴講（会場）での感染予防対応等】

1. 受講者の間隔を十分に確保したゆとりのある座席配置を行います。
2. 当日の受付は、受講者の皆様と会場スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. 講演中でも換気を行う場合がありますので、ご協力をお願いします。
4. 適宜、館内の消毒液や洗面所の液体石鹸等による手指消毒にもご協力ください。
5. ドアノブや使用機材等の消毒を行います。

【現場研修（バス等）での感染予防対応等】

1. バス車内・視察現場等では、参加者の間隔を確保したゆとりのある配席等を行います。
2. バス車内・視察現場等では、参加の皆様と参加スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. バス車内は、外気換気モードによるエアコンの使用を基本とし、バス車内換気能力を参加者へご案内します。
4. バス乗降時には、消毒液を用意しますので手指の消毒のご協力をお願いします。
5. バス車内の手すりや使用機材等の消毒を行います。